

平成30年9月5日招集

茂原市議会定例会会議録（第4号）

議事日程（第4号）

平成30年9月14日（金）午前10時00分開議

- 第1 認定案第1号から第7号、報告第1号
から第2号並びに議案第1号から第5
号までの質疑後委員会付託
- 第2 休会の件

茂原市議会定例会会議録（第4号）

平成30年9月14日（金）午前10時00分 開議

○議長（三橋弘明君） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。
現在の出席議員は22名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

○議長（三橋弘明君） ここで報告します。
お手元に配付してありますとおり、本日、市長から議案等説明員の欠席の報告がありました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 事 日 程

○議長（三橋弘明君） 本日の議事日程はお手元に配付してありますので、それにより御了承願います。

————— ☆ ————— ☆ —————

認定案第1号から第7号、報告第1号から第2号並びに

議案第1号から第5号までの質疑後委員会付託

○議長（三橋弘明君） それでは、これより議事日程に基づき議事に入ります。
議事日程第1「認定案第1号から第7号、報告第1号から第2号並びに議案第1号から第5号までの質疑後委員会付託」を議題とします。

これより質疑に入ります。

最初に、認定案第1号「平成29年度茂原市一般会計歳入歳出決算認定について」ですが、本案については、議会運営委員会の協議に基づき決算審査特別委員会を設置し、その席で細部について審査を願うこととし、本議場においては、市長の政治姿勢等に係る大綱のみについて質疑を願うこととしたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（三橋弘明君） 御異議ないものと認めます。したがって、そのように決定しました。

それでは、最初に認定案第1号「平成29年度茂原市一般会計歳入歳出決算認定について」大綱的な質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に認定案第2号「平成29年度茂原市特別会計国民健康保険事業費歳入歳出決算

認定について」 質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に認定案第3号「平成29年度茂原市特別会計下水道事業費歳入歳出決算認定について」 質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に認定案第4号「平成29年度茂原市特別会計農業集落排水事業費歳入歳出決算認定について」 質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に認定案第5号「平成29年度茂原市特別会計駐車場事業費歳入歳出決算認定について」 質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に認定案第6号「平成29年度茂原市特別会計介護保険事業費歳入歳出決算認定について」 質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に認定案第7号「平成29年度茂原市特別会計後期高齢者医療事業費歳入歳出決算認定について」 質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に報告第1号「専決処分の承認を求めることについて」 質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に報告第2号「専決処分の承認を求めることについて」 質疑を許します。ありませんか。

(「なし」との声あり)

なければ、次に議案第1号「平成30年度茂原市一般会計補正予算(第2号)」について 質疑を許します。竹本正明議員。

○20番(竹本正明君) 補正予算書の14ページですが、歳出、総務費の企画費の中に総合戦略推進事業委託料、シティプロモーション事業委託料が入っておりますが、これにつきまして、その内容、そしてまた委託先等をお尋ねいたします。

○議長(三橋弘明君) 企画財政部次長 麻生新太郎君。

○企画財政部次長(麻生新太郎君) シティプロモーション事業委託料につきましては、地方

創生推進交付金を活用した事業で、国の補助率は2分の1となっております。本市では、これまで多くのテレビや映画などの撮影支援を行っていましたが、俳優の権利関係などの理由で撮影受け入れを本市のPRとして活用できていない状況でした。そこで、ロケ地を観光資源として活用し、さらにグルメとあわせることにより、全国または海外からも人を呼ぶ、いわゆるロケツーリズムを確立させるため、俳優の権利処理、情報発信等、トータルな事業支援を委託しようとするものです。委託先といたしましては、まだ本会議での御承認をいただく前で、あくまで予定となりますが、日本で唯一のロケ地情報誌やドラマ制作会社の9割以上が利用するロケ地検索サイトを運営しており、当該業務が唯一移行可能である株式会社地域活性プランニングを予定しております。

なお、当社代表、藤崎氏は、内閣府の地域活性化伝道師や総務省地域力創造アドバイザー、また、観光庁が運営するロケツーリズム協議会の会長などを務めており、実績は申し分ないと考えております。以上です。

○議長（三橋弘明君） 再質問ありますか。竹本正明議員。

○20番（竹本正明君） この件につきましては、29年度策定したシティプロモーション基本方針計画の中に載っているのを実際にプロモーション会社に茂原市を宣伝してもらおうということなんでしょうが、その前提にこういうものがあります。茂原市民は他市の市民に比べて、自らが住むまちについての自己肯定感が低く、自らのまちの魅力を認識していないという推測がなされている。このような情報の流通の不足により、市民の市内の消費喚起の促進等を図るために、こういうものを促進していきたいというのが趣旨として29年度に示されておりました。具体的に茂原市をいかに内外に知らしめるか。例えば映画の中でシャッター街、榎町通りが映っていたことがあります。こういう状況ばかりではなく、茂原市の特性、茂原市公園、あるいは藻原寺周辺、そういうところの魅力を発信していきたいということでこれを企画したということで理解していきますが、よろしいですね。

○議長（三橋弘明君） 当局の答弁を求めます。企画財政部次長 麻生新太郎君。

○企画財政部次長（麻生新太郎君） そのとおりでございます。

○議長（三橋弘明君） 竹本正明議員。

○20番（竹本正明君） もう一つ、これは担当が違うと思いますが、同じページに2項徴税费、3項戸籍住民基本台帳費の中と連動すると思うんですが、コンビニ交付サービスの導入ということが書かれております。このシステムを構築していくということでございますが、この内容、そしてシステムの構築委託先はどこか、この辺をお尋ねしたいと思います。

○議長（三橋弘明君） 当局の答弁を求めます。市民部次長 田中正人君。

○市民部次長（田中正人君） コンビニ交付サービスでございますけれども、マイナンバーカードを使ってコンビニ等のマルチコピー機を利用し、住民票、印鑑証明書、税証明書が取得できるサービスでございます。全国5万5000店舗あるコンビニ等で朝6時半から夜11時まで、年末年始を除きまして、土日、祝日を含め毎日、証明書を取得することができます。この事業開始は平成31年7月を予定しております。また、委託先でございますが、DSKを予定しております。以上でございます。

○議長（三橋弘明君） 再質問ありますか。竹本正明議員。

○20番（竹本正明君） これは、銀行で我々が持っているキャッシュカードとか、そういうものに対応できるようなことだと思いますが、この中で、マイナンバーカードを使わなければできないわけですから、この点で、茂原市は今、マイナンバーカードの発行数、申請数はどのような状況にありますか。

○議長（三橋弘明君） 当局の答弁を求めます。市民部次長 田中正人君。

○市民部次長（田中正人君） マイナンバーカードの交付件数につきましては、8月末現在、1万80件、交付率につきまして11.21%となっております。マイナンバーカードの交付は、コンビニ交付サービスを開始することによりまして交付率も高くなってくるとは思いますが、事業開始までにより一層、啓発に努めてまいる考えでございます。以上でございます。

○議長（三橋弘明君） さらに質問ありますか。竹本正明議員。

○20番（竹本正明君） これはカードを持っていないと、それを引き出すことができないという制度ですよ。そういう形でこれから業者にシステムを構築してもらおうと、そういうことは理解しましたが、カード数の発行が少ないということは、市民に、国民もそうですが、これを必要としないという考え方が多少あるんですね。私も持っていませんけれども。そういうことを考えたときに、こういうことを整備していくという形の中では、少なからず茂原市民がより一層、多くの方たちがマイナンバーカードを申請することによって、この利用率が上がるし、土曜、祭日等にコンビニで引き出せるということですから、これは大いに啓発、啓蒙してもらいたい。これはお願いしておきます。

それともう一つですが、今回、予算の中にこのシステムの構築費用が繰越明許になっているわけです。予算はあるんですが、それを繰越明許にするということの理由は何ですか。

○議長（三橋弘明君） 答弁を求めます。市民部次長 田中正人君。

○市民部次長（田中正人君） コンビニ交付事業のシステム構築には約1年かかるため、次年

度予算へ繰り越しとさせていただきます。以上でございます。

○議長（三橋弘明君） さらに質問ありますか。竹本正明議員。

○20番（竹本正明君） 予算は載せるけれども、執行できないというようなことで、金額とすれば300万円くらいの話ですから大したことないんですが、そういう理由があるということで理解をいたしました。

最後に、コンビニ交付に当たって我々が危惧することは、個人情報保護法からすると、非常にセキュリティ対策は大丈夫なのかなという危惧を持っておりますが、今、銀行におけるカードの利用率は高くなっているんですが、こういうものを踏まえた中で、どのような考え方があるか、お尋ねしたいと思います。

○議長（三橋弘明君） 答弁を求めます。市民部次長 田中正人君。

○市民部次長（田中正人君） コンビニ交付のセキュリティ対策でございますけれども、通信の安全対策につきましては、専用の通信ネットワークを利用することによりまして、個人情報漏えい防止策が実施されております。

また、証明書発行用データ及び利用情報につきましては、証明書発行後、完全に消去されることとなっております。

また、証明書の用紙につきましては、A4サイズの普通紙に対しまして両面に偽造改ざん処理が施され、従来の改ざん防止専用紙と同等となっております。

さらに、端末の画面や音声によりまして、証明書やマイナンバーカードの取り忘れ防止対策を実施しております。以上でございます。

○議長（三橋弘明君） 竹本正明議員。

○20番（竹本正明君） 内容についてはよく理解をさせていただきましたが、今後は、この普及ということ、市民がこれを認知することが大事でありまして、認知するのはいいんですが、マイナンバーカードを申請して取得しなければ活用できないという制度ですから、先ほども言ったように、当局もいろいろな機会を使って、広報とかいろいろな形で知らしめてマイナンバーカードの発行数を増やし、かつ、この利用度が上がることを私は期待しております。以上です。

○議長（三橋弘明君） 他にございますか。平ゆき子議員。

○5番（平ゆき子君） 補正の17ページ、3款民生費、第2期子ども・子育て支援事業計画策定事業316万円余が計上されておりますけれども、これを見ますと、第2期子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査の委託料となっております。第1期はちゃんと当初予算で計画的に計上

されていたという状況だったんですが、この第2期は、なぜこういう補正予算で計上されているのかをお伺いいたします。よろしく申し上げます。

○議長（三橋弘明君） 当局の答弁を求めます。福祉部次長 関谷 典君。

○福祉部次長（関谷 典君） 全ての市町村は子ども・子育て支援法に基づき、平成27年度から平成31年度を計画期間とする子ども・子育て支援事業計画を策定しております。次期計画の策定に当たりまして、当初予算編成時には国から方針が示されておりましたが、本年5月末の国からの通知により、第1期事業計画と同様に、国が定める基本指針に基づき、全国一律にニーズ調査を実施することとなりました。その後、8月に国から基本指針が示されて、調査の内容が明らかになったことから、今回の補正予算にて対応させていただくことになった次第です。以上でございます。

○議長（三橋弘明君） 再質問ありますか。平ゆき子議員。

○5番（平ゆき子君） 国からこういう調査をやるようにと言われて、こういう状態になったというのはわかります。1回目のニーズ調査、結構立派なニーズ調査によってそういったものを反映したものが計画としていただいていますけれども、それが今度、第2回というのでは、そういうようなところを多少は、そのニーズ調査をもとにまたやるのではなかったのかなと思ったんですけれども、国が全国一斉にやるようにということは、調査項目というのは国の意向がいろいろ反映されているのではないかなと思うんですけれども、1つは、地方独自の子育て支援、その地方、地方によつての事情がありますよね。例えば待機児童も、都市部のほうは茂原市と比べようがないくらい多い。そういう点では、茂原市も待機児童が若干出てきたんですけれども、まだまだ解消されていない状況です。そういうようなことで、国だけでなく茂原市の独自性を持った設問なども入れていく必要があるのではないかなと思うんですが、それに対してのお考えが1つ。

もう一つは、せっかくニーズ調査をやるのであれば、それなりの回収率、前回2000件でやっているんですけれども、そこら辺のところは今回どうなのか示していただきたいんですけれども、ぜひ回収率を高める、そういったことなどもいろいろ考えられているんだと思うんですが、そのあたりをお示ししていただきたいと思います。

○議長（三橋弘明君） 当局の答弁を求めます。福祉部次長 関谷 典君。

○福祉部次長（関谷 典君） 議員のおっしゃいました設問の件なんですけれども、国が定めた設問のほか、市の状況によりまして設問を設定することが可能であると考えております。現時点ではまだ設問を決めておりませんが、来年10月に予定されております幼児教育の無償化に

係る設問などを考えております。

アンケートの回収率の件でございますが、アンケートについては、小学校3年生以下のお子さまを持つ保護者の中から2000名を対象に実施する予定で考えております。アンケートの一部につきましても、回収率を高めるために保育所、幼稚園及び小学校を通して配布、回収を行うことにより回収率の向上を図ってまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（三橋弘明君） 他にございませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第2号「茂原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第3号「字の区域及び名称の変更について」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第4号「教育委員会委員の任命について同意を求めることについて」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、次に議案第5号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」質疑を許します。ありませんか。

（「なし」との声あり）

なければ、質疑を終結します。

ここでお諮りします。ただいま議題となっております認定案第1号については、11人の委員により構成する決算審査特別委員会を設置し、これに付託の上、閉会中の継続審査としたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（三橋弘明君） 御異議ないものと認めます。したがって、そのように決定しました。

ただいま設置されました決算審査特別委員会の委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、議長から指名します。その氏名を事務局長に朗読させます。

○事務局長（山田隆二君） それでは、申し上げます。3番岡沢与志隆議員、4番大柿恵司議員、5番平ゆき子議員、6番向後研二議員、7番杉浦康一議員、8番はつたに幸一議員、11番

山田広宣議員、14番中山和夫議員、15番山田きよし議員、18番ますだよしお議員、19番三橋弘明議員。以上でございます。

○議長（三橋弘明君） 以上の11人を決算審査特別委員会委員に指名します。

続いております。ただいま議題となっております議案第4号から第5号については、人事案件のため、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（三橋弘明君） 御異議ないものと認めます。したがいまして、議案第4号から第5号については、委員会付託を省略することと決定しました。

なお、その他の議案については、お手元に配付の議案付託表のとおり、各所管委員会にその審査を付託します。

お諮りします。ただいま付託しました議案のうち、認定案第2号から第7号については、議会運営委員会の協議に基づき、各所管委員会における閉会中の継続審査に付したいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（三橋弘明君） 御異議ないものと認めます。したがいまして、認定案第2号から第7号については、閉会中の継続審査に付することと決定しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

休 会 の 件

○議長（三橋弘明君） 次に、議事日程第2「休会の件」を議題とします。

お諮りします。明15日から19日までは報告書作成等のため休会としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（三橋弘明君） 御異議ないものと認めます。したがいまして、そのように決定しました。

以上で、本日の議事日程は終了しました。

次の本会議は20日午後1時から開き、議案並びに陳情の総括審議を行います。

本日は以上で散会します。御苦労さまでした。

午前10時27分 散会

————— ☆ ————— ☆ —————

○本日の会議要綱

1. 認定案第1号から第7号、報告第1号から第2号並びに議案第1号から第5号までの質疑後委員会付託
2. 休会の件

○出席議員

議長 三橋弘明君

副議長 中山和夫君

| | | | |
|-----|----------|-----|----------|
| 1番 | 飯尾 暁君 | 2番 | 石毛隆夫君 |
| 3番 | 岡沢 与志隆君 | 4番 | 大柿 恵司君 |
| 5番 | 平 ゆき子君 | 6番 | 向後 研二君 |
| 7番 | 杉浦 康一君 | 8番 | はつたに 幸一君 |
| 9番 | 小久保 ともこ君 | 10番 | 田畑 毅君 |
| 11番 | 山田 広宣君 | 12番 | 前田 正志君 |
| 13番 | 金坂 道人君 | 15番 | 山田 きよし君 |
| 16番 | 細谷 菜穂子君 | 17番 | 鈴木 敏文君 |
| 18番 | ますだ よしお君 | 20番 | 竹本 正明君 |
| 21番 | 常泉 健一君 | 22番 | 市原 健二君 |

☆

☆

○欠席議員

なし

☆

☆

○出席説明員

| | | | |
|-------------------------|--------|-------------------------|-------|
| 市長 | 田中豊彦君 | 副市長 | 豊田正斗君 |
| 教育長 | 内田達也君 | 企画財政部長 | 鶴岡一宏君 |
| 市民部長 | 三橋勝美君 | 福祉部長 | 岩瀬裕之君 |
| 経済環境部長 | 山本丈彦君 | 都市建設部長 | 大橋一夫君 |
| 教育部長 | 久我健司君 | 総務部次長 (総務課長事務取扱) | 内山千里君 |
| 企画財政部次長 (企画政策課長事務取扱) | 麻生新太郎君 | 企画財政部次長 (市民税課長事務取扱) | 吉田茂則君 |
| 市民部次長 (生活課長事務取扱) | 田中正人君 | 福祉部次長 (社会福祉課長事務取扱) | 関屋典君 |
| 経済環境部次長 (商工観光課長事務取扱) | 地引加代子君 | 都市建設部次長 (土木建設課長事務取扱) | 秋山忠君 |
| 都市建設部次長 (建築課長事務取扱) | 渡辺修一君 | 教育部次長 (教育総務課長事務取扱) | 斎藤洋士君 |
| 職員課長 | 平井仁君 | 財政課長 | 木島成浩君 |

☆

☆

○出席事務局職員

| | |
|------|-------|
| 事務局長 | 山田隆二 |
| 主幹 | 中田喜一郎 |
| 局長補佐 | 鶴岡隆之 |